

唐詩「勸酒」実践報告―平仄・韻目に着目した漢詩創作の取り組み―

狭山ヶ丘高等学校 樋口 敦士

【一 はじめに】

漢文教育の中で漢詩指導は重要な位置を占めている。ただ、漢詩には平仄や韻目の規則があり、これが難解なものと思なされるため、これまで漢詩の本質的な指導例は多くなかった。また、教科書に採録されている漢詩は平仄が整っていないものも見られる。さらに、漢詩の指導は鑑賞に重点が置かれており、創作までなされることは少ない。ここでは晩唐の于武陵の漢詩を取り上げ、平仄及び韻目指導から、創作までを扱った実践報告である。

【従来の漢詩指導の問題点】

（一）平仄・韻目の指導なし / （二）平仄の合わない漢詩（拗体） / （三）創作指導なし

高等学校学習指導要領「古典探究」（平成三十年（二〇一八）告示）

〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと（言語活動）

（2）ウ 古典を読み、その語彙や表現の技法などを参考にして、和歌や俳諧、漢詩を創作したり、体験したことや感じたことを文語で書いたりする活動。

▼明治書院・東京書籍・数研出版『古典探究』教科書に漢詩創作のコラムあり。

于武陵「勸酒」

●○●○●○  
○●○●○●  
○●○●○●  
○●○●○●

ハナニアラシノタトヘモアルゾ

「サヨナラ」ダケガ人生ダ ―井伏鱒二『厄除け詩集』―

●○●○●○  
○●○●○●  
○●○●○●  
○●○●○●

君に勸む金屈卮

○●○●○●  
○●○●○●  
○●○●○●  
○●○●○●

満酌辞するを須ひず

○●○●○●  
○●○●○●  
○●○●○●  
○●○●○●

花発きて風雨多し

○●○●○●  
○●○●○●  
○●○●○●  
○●○●○●

人生別離足る

◎押韻（四支）卮・辞・離（明代高棟『唐詩品彙』卷七・『唐詩選』卷六所収）

電子辞書

平○ / 仄（上・去・入）●

【紅】 〓 〔平〕 東 〓

平仄 韻目

平仄…二四不同 / 反法粘法 / 孤平の禁 / 下三連の禁  
韻目…五字について着目  
×例（哀 〓 〇 仄 / 愛 〓 〇 隊）

## 【二】「勸酒」実践指導】

「勸酒」を教材として高校一学年2学級・高校二学年1学級（計3学級81名対象）にて鑑賞及び翻案創作の指導を実践した（計3時間）。実践終了後には Google Classroom を通して Google Forms にて意識調査をした。右3学級のうち、1学級の指導案を載せる。

### ① 10月26日（火）

#### 「勸酒」鑑賞

- ・本時の説明及び「勸酒」音読（8分）
- ・平仄・韻目調べ（20分）：電子辞書を用いて二・四字目の平仄□・韻目□□調べ。
- ・「勸酒」読解鑑賞（20分）：「明」「暗」を明示しながら解釈及び鑑賞。
- ・本時のまとめ（2分）：本時のまとめ及び次回の実践についての説明。

### ② 10月28日（木）

#### 「下三字創作実践

- ・本時の説明及び「勸酒」音読（8分）
- ・「勸酒」翻案作品紹介（15分）：多くの文学作品に影響を与えた事実の確認。
- 飛鳥井雅世撰『新続古今和歌集』和歌／茶釜散人『蕩子釜枉解』洒落本／大田南畝『通詩選笑知』狂詩／井伏鱒二『厄除け詩集』翻々逸／太宰治『グッド・バイ』（グッド・バイ）作者の言葉』小説／土岐善麿『鶯の卵』文語諷／寺山修司『幸福が遠すぎたら』口語詩／カルメン・マキ・六文実践「サヨナラだけが人生ならば」歌謡曲
- ・「下三字創作」説明（5分）：三・四・五字目に使用する字についての説明。
- ・「下三字創作」実践（20分）：「人生△△△」の三字の創作をおこなう。（▼宿題に）
- ・本時のまとめ（2分）：本時のまとめ及び次回の実践についての説明。

### ③ 11月2日（火）

#### 「下三字創作発表

- ・本時の説明及び「勸酒」音読（8分）
- ・グループ内発表（15分）：各自の「勸酒」の鑑賞及び下三字創作のグループ内発表。
- ・全体発表（15分）：代表者による「勸酒」の鑑賞及び下三字創作の全体発表。
- ・まとめ（2分）：本時のまとめ。
- ・振り返り（10分）：今回の実践についての反省及び感想。

### ◇大田南畝『通詩選笑知』「勸醴（醴を勧む）」（天明三年（一七八三））

勸君三國一

甘酒不須辞

胸焼皆迷惑

先生無別儀

君に勧む三國一

甘酒辞するを須ひず

胸焼けて皆迷惑

先生別儀無し

#### ◆千武陵「勸酒」（結句）

○	人	○	生	●	足	●	別	●	離
		(人音)		(四支)					

#### ◆大田南畝「勸醴」（結句）

○	先	○	生	○	無	●	別	○	儀
		(人音)		(四支)					

○「下三字創作（人生△△△）」の実践（生徒創作テーマ）

花発多風雨  
人生△△△

(例) △△△△△  
△△△△△

	○	人
	○	生
双方可	○・●	△
(入声)	●	△
(四支)	◎	△

※「下三字創作」のルール

◆【三字目】 平仄どちらでも可

◆【四字目】 入声音（フクツチキ）……中古音における四声の一つで仄声となる。

《例》 (フ)合・集 (ク)福・屋 (ツ)失・発 (チ)一・吉 (キ)笛・席

◆【五字目】 韻目【四支】より選択 (儀・儀○・×義・議●)【四賓】

医移萎惟帷危奇飢期規旗肌姬基窺其岐嬉羈欺儀疑儀宜資師詩肢脂系枝詞支芝姿諮雌私  
獅之匙屍祠卮而慈辞時兕持炊垂錐誰衰随管池知痴馳追碑卓悲皮疲眉琶唯離罹梨離為遺  
涯机騎崎差思司治推吹施遲累

【三】「下三字創作」生徒作品（ワークシート作成・GoogleForms 入力）

- ▼①「人生哀楽詩（人生哀楽の詩）」  
咲いた花が風雨によって散ってしまうことが多いように、人生も嬉しかったり楽しかったりすることがある。一方で、悲しいこともあるのは当然のことであり、それには逆らえない。人生をより良くするには、一喜一憂せずに生きていく必要があるのだ。
- ▼②「人生有酷思（人生酷思有り）」  
（花が開いたと思ったら、風雨によって散ってしまう花のように）人生に対して、酷いと思ったり、無慈悲だと思ふことがある。
- ▼③「人生不失師（人生師を失はず）」  
自分の師匠である人はいつかは死んでしまいが、目標とすべきことはなくなるならないこと。
- ▼④「人生非一糸（人生一糸に非ず）」  
人生は一筋の糸のように単純ではなく、複雑で何があるか分からないものだから新たな出会いがあるかもしれないという意味。
- ▼⑤「人生得失知（人生得失の知）」

得するも損するも全ては人が思うことであってそれに振り回されてはいけない。

▼⑥「人生有格差（人生格差有り）」

人は生まれながらに不平等。

▼⑦「人生如急時（人生急時のごとし）」

※「急（キフ）」▼「急度（キット）」

長い年月の準備期間を経て、花を開花させても風雨が多くなってしまうこともあるように、人生も急時（忙しいとき）のように大変な時もある。

【失敗例①】（四字目入声音なし）

・「人生悩生涯」・「人生一瞬時」・「人生有訓辞」・「人生不敢遺」

【失敗例②】（読み下し語順ミス）

・「人生少福思（人生福思うこと少し）」・「人生禍福知（人生禍福を知る）」

#### 【四 まとめとして】

于武陵の漢詩「勸酒」は井伏鱒二の訳詩によって広く知られており、様々な文学ジャンルの作品に大きな影響を及ぼした（当該生徒の九割はこの詩に聞きなじみがなかった）。

漢詩としては平仄が整っているばかりでなく、人生観を謳ったものであり、教材として適していると考えた。この翻案創作として平仄・韻目を踏まえて部分的に創作（「下三字創作」させたところ、概ね生徒の主体的な授業参加の様子が見受けられ、八割以上の生徒が形式に則った「下三字創作」を完成させた）【失敗例③】（二割弱）。結果的に、漢詩の韻律構造を知ること、教材理解が深まる結果が得られた。漢詩作品は鑑賞のみならず、創作をさせることで効果的な指導をおこなうことが可能になると結論づけられる。

【事後アンケート（GoogleFormにて提出）】

【関心を持った】「勸酒」七〇％／「平仄（韻目）調べ」七十七％／「下三字創作」七五％

【今回の実践を通しての感想・反省点（生徒感想より）】

・漢字を三文字を当てはめるのになりに色々考えて、表現したいことを上手く伝えようと試行錯誤した。入れられる漢字に制限がある中で考えるのは難しかったが、同時に面白さも感じる事ができた。また、漢詩のテーマが人生ということで、様々な人の人生観を聞いて、特に前向きな人の考え方は落ち込んだときの参考にできそうだと思う。

